

平成30年度特定非営利活動法人オアシス総会

平成30年5月15日 11:00～

於 蒲郡市民会館

次第

1 理事長挨拶

- ・ 議長選出
- ・ 書記任命
- ・ 議事録署名者委嘱

2 議事

第1号議案 平成29年度事業報告の承認について
・ 海外支援活動に関わる事業
・ 国内における福祉・奉仕等に関わる事業

第2号議案 平成29年度収支決算報告の承認について
・ 監査報告

第3号議案 平成30年度役員を選出と承認について
・ 新役員挨拶

第4号議案 平成30年度事業計画（案）の承認について
・ 海外支援に関わる事業
・ 国内福祉・奉仕に関わる事業

第5号議案 平成30年度収支予算（案）の承認について

その他

- ・ 年間計画について
- ・ 法人リーフレット作成について
- ・ 社員名簿の作成について

《参考》 本会の成立要件

(定足数) 定款第26条 「総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。」

第1号議案 平成29年度事業報告

1 海外支援に関わる事業

(1) カンボジア教員研修交流事業

助成先：モリコロ基金助成事業 対 象：バイヨン中学校、シェムリアップ州教員養成学校
事業費：1,117,588円（内モリコロ基金750,000円）

9月13日～18日の日程で、JST代表チア・ノル氏を含むバイヨン中学校3名の先生を日本へ招待して「カンボジア教員研修招聘事業」を実施。小・中・高等学校での研修に加え、市民との交流事業において国際交流・親善を深めた。（参加者アンケートメモ別紙参照）

(2) バイヨン中学校ネット環境整備事業（※バイヨン中学校電気エネルギー補充事業を変更）

助成先：蒲郡ライオンズクラブ 対 象：バイヨン中学校
事業費用：478,345円（内蒲郡ライオンズクラブ150,000円）

当初太陽光バッテリーを補充することを中心とするエネルギー補充事業を構想していたが、昨年5月、バイヨン中学校に通電されたことにより急きょ事業内容を変更し、現地要望の強いネット環境充実のための事業に着手した。9月にはアンテナ塔など工事を完了、11月17日にスカイプ通信を使って蒲郡中学校との英語の同時授業を実施した。

(3) カンボジア教育活動支援事業（参加者自費事業）

参加者：第1回11名、第2回6名、第3回13名 対 象：バイヨン中学校、教員養成学校
事業費：2,138,723円（参加者自費事業）

内 容：・第1回訪問6月12日～20日、体育（運動会練習）・音楽・理科の授業に加え新たに数学の授業実践をした。
・第2回訪問11月8日～21日、理科・体育（運動会練習）・家庭科・音楽の授業実践に加え、蒲郡中とのスカイプ通信授業の準備・指導、200mトラック設置に加わった。
・第3回訪問1月15日～23日、体育（運動会練習）・理科の授業実践に加え、バイヨン中・教員養成校の第3回運動会の実施に加わった。

2 国内福祉・率仕に関わる事業

(1) 多文化多様性交流事業

助成先：蒲郡市民企画公募まちづくり助成
事業費：537,728円（内まちづくり助成350,000円）

- ・9月16日「カンボジア&市民交流会」の実施。108名の参加を得てカンボジアを窓口国際理解の推進を図った。（アンケート結果別紙）
- ・10月13日～18日の「カンボジア子ども絵画展」及び10月14日「カンボジアにおける美術教育」講演会にも多数の市民の参加のもと、カンボジアの実情をアピールできた。
- ・1月13日～28日の「よみがえる笑顔、カンボジアこれからの教育」写真展において、記録写真100点を展示。市外からの来場者も多数あり関心の高さが感じられた。
- ・1月15日「外国暮らし体験交流会」に3名の講師をお迎えして、新奇性に富んだ体験をお話しいただいた。参加者が34名と少ないのが残念であった。（アンケート結果別紙）

(2) マジック講演、講演会等啓発事業

- ・マジック公演 55回（福祉施設・保育園・小中学校・子ども会・形原公民館親子マジック講座）
- ・講演会4回（教員会・岡崎ライオンズ・映画同好会） ・原稿依頼 4回

第2号議案 平成29年度「特定非営利活動に係る事業会計」収支決算書
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人オアシス
単位:円

科目	予算額	決算額	差異	備考
(資金収支の部)				
I 経常収入の部				
1 会費・入金収入	350,000	340,000	△ 10,000	正会員34名×10,000円
1) 正会員会費収入	350,000	340,000	△ 10,000	
2 事業収入	0	0	0	
3 補助金等収入	1,270,000	1,250,000	△ 20,000	モリコロ基金助成金 蒲郡市まちづくり事業助成金 蒲郡ライオンズクラブ助成金
1) 民間補助金収入	750,000	750,000	0	
	370,000	350,000	△20,000	
	150,000	150,000	0	
4 寄付金収入	3,000,000	3,659,379	659,379	募金・寄付金 カンボジア訪問費 3回 30人分 社員及び協賛者寄付金
1) カンボジア特別支援基金	700,000	954,431	254,431	
2) カンボジア支援活動寄付	2,000,000	2,032,500	32,500	
3) 招聘事業特別寄付	300,000	672,448	372,448	
5 雑収入	100	7	△ 93	
1) 受取利息	100	7	△ 93	
2) 雑収入	0	0	0	
経常収入合計(A)	4,620,100	5,249,386	629,286	
II 経常支出の部				
1 事業費	3,962,300	4,272,384	310,084	事業報告書参照(モリコロ基金助成を含む) 事業報告参照(蒲郡ライオンズクラブ助成を含む) 事業報告書参照 事業報告書参照(まちづくり事業助成を含む)
1) カンボジア教員研修招聘事業	1,046,000	1,117,588	71,588	
2) バイオン中学校ネット環境整備事業	471,300	478,345	7,045	
3) カンボジア教育活動支援事業	2,000,000	2,138,723	138,723	
4) 多文化多様性交流事業	445,000	537,728	92,728	
2 管理費	171,000	166,740	△4,260	総会・カンボジア訪問打ち合わせ会場費 広報・支援者お礼等郵送代(3回分) 35号(3,000部)、36号(3,000枚) レンタルサーバー代12ヶ月分、コピー用紙代 写真印刷紙・インク代 過料
1) 会議費	10,000	15,420	5,420	
2) 旅費交通費	6,000	0	△ 6,000	
3) 通信費	30,000	38,490	8,490	
4) 広報印刷費	20,000	13,150	△ 6,850	
5) 文具類等消耗品費	90,000	89,680	△ 320	
6) 外国送金・郵送手数料	5,000	0	△ 5,000	
7) 雑費	10,000	10,000	0	
経常支出合計(B)	4,133,300	4,439,124	305,824	
経常収支差額(A-B)=(C)	486,800	810,262	677,131	
前期繰越収支差額(D)	376,767	376,767	0	
次期繰越収支差額(C+D)	724,567	1,187,029	462,462	
当期正味財産合計	724,567	1,187,029		

第3号議案

特定非営利活動法人オアシス 社員名簿 H30. 4. 1現在

番	氏名	住所又は居所	備考
1	河合幹夫	443-0003 蒲郡市五井町岡海道47番地2	
2	壁谷孝重	441-0100 豊川市小坂井町美園1丁目5-32	
3	足立泰敏	443-0007 蒲郡市神ノ卸町森42番地1	理事
4	中村 元	443-0057 蒲郡市中央本町10番3号	
5	竹本昌三郎	440-0071 豊橋市北島町字北島30番地1	
6	竹本弥生	同上	
7	平出 暁	443-0042 蒲郡市御幸町8番8号	理事
8	金田圭史	441-0321 豊川市御津町広石広国48番地2	理事
9	本多有二	443-0007 蒲都市神ノ郷町下向山28番地11	
10	浅井 猛	443-0054 蒲郡市府相町3番6号	
11	福田祐子	442-0853 豊川市折青馬町4-28	
12	仲田幸正	443-0013 蒲郡市大塚町西屋敷30番11 (会社)	幹事
13	大岡孝司	460-0012 名古屋市中区千代田3-6-15	
14	金田勝己	441-2302 北設楽郡設楽町清崎字道満2	
15	金田文子	同上	
16	篠田 恵	443-0021 蒲郡市三谷町九舗77-4	
17	平岩尚文	443-0042 蒲郡市御幸町14-13	
18	藤江 充	444-3505 岡崎市本宿町円如ヶ入1-46	
19	杉浦ひろみ	444-1166 安城市寺領町牛家42-1	
20	杉浦真理子	444-0802 岡崎市美合町字中新田58	
21	杉浦 修	同上	
22	三浦 嘉子	443-0046 蒲郡市竹谷町江尻13-9	
23	天野淳二	444-2111 岡崎市西阿知和町字下山ノ田30-	
24	近藤伴和	441-8019 豊橋市花田町中ノ坪74-2	
25	村上澄代	443-0055 蒲郡市八百富町15-34	
26	山本佳樹	443-0056 蒲郡市神明町23-18	理事
27	清水孝夫	441-0203 豊川市長沢町下市28・29	
28	清水孝子	同上	
29	浦野憲治	470-0373 豊田市四郷町下古屋55-4	
30	神崎恭紀	471-0827 豊田市平山町5-24-59	
31	尾崎和代	443-0105 蒲郡市西浦町宮新田17-5	
32	杉浦千香	444-3523 岡崎市藤川町峠荒古44-52	
33	笥 元江	470-2101 知多都東浦町森岡岡田23-5	
34	川越麻友美	447-0014 碧南市長田町2-51	
35	大久保博和		
36	伊藤悦子	444-0933 岡崎市波町荒居35	
37	渡邊坂司	443-0005 蒲都市水竹町東脇島65番地	顧問

※個人情報保護条例の施行に則り、本名簿の取り扱いこはくれぐれもご留意ください。

第4号議案

平成30年度特定非営利活動に係わる収支予算(案)
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人オアシス

科 目	金 額 (円)		科 目
I 経常収入の部			
1 財産運用収入		0	
2 会費・入会金収入		350,000	
1) 会員会費収入	350,000		会員35名×10,000円
3 補助金等収入		772,000	
1) 民間補助金収入	722,000 50,000		アジア・市民交流プログラム助成金 蒲郡国際交流協会助成金
4 寄付金収入		3,000,000	
1) カンボジア特別支援基金	700,000		募金・寄付金
2) カンボジア支援活動寄付	2,000,000		航空運賃1人80,000円×25人(年3回)
3) 招聘事業特別寄付	300,000		社員及び協賛者寄付金
5 雑収入		100	
1) 雑収入	100		利息
経常収入合計(A)		4,122,100	
II 経常支出の部			
1 事業費		3,587,000	
1) カンボジア教員研修交流事業	987,000		事業計画書参照
2) カンボジア教育活動支援事業	2,300,000		事業計画書参照
3) アンコールクラウ地域環境保全事業	200,000		事業計画書参照
4) 国際交流・展覧会事業	100,000		事業計画書参照
2 管理費		195,000	
1) 会議費	20,000		
2) 旅費交通費	10,000		
3) 通信費	40,000		
4) 広報印刷費	80,000		パンフレット発行含む
5) 文具類等消耗品費	30,000		
6) 外国送金・輸送費代	5,000		
7) 雑費	10,000		
経常支出合計(B)		3,782,000	
経常収支差額(A-B)=(C)		340,100	
前期繰越収支差額(D)		1,187,029	
次期繰越収支差額(C+D)		1,527,129	

第4号議案 平成30年度事業計画(案)

1 海外支援に関わる事業

(1) カンボジア教員研修交流事業

助成先：アジア・市民交流助成プログラム(申請中)

対象：バイヨン中学校、シエムリアップ州教員養成学校

事業費：987千円(内アジア市民交流助成プロ722千円)

内容：カンボジア教員を招聘しての研修事業は、本年度で第6回目を迎える。本年度は、州・市の教育長を始め、5名のカンボジア教員を招聘し、県内の学校及び教育施設等での参観・研修、また市民との交流を図ることでシエムリアップ州の教育発展に資する。

(2) カンボジア教育活動支援事業(法人及び参加者自費事業)

参加者：3回の訪問(延人数25人)

対象：バイヨン中学校、シエムリアップ州教員養成学校

事業費：2,300千円(航空運賃：25人×8万円、費用はすべて参加者持ち)

内容：カンボジアへの定期訪問は、5月・11月・1月とする。訪問時には参加者の専門教科に合わせた授業実践、教育活動支援を実施する。

※(1)の「アジア・市民交流助成プログラム」に対して、(2)の事業内容を抱き合わせて申請している。(内講師4人分の航空運賃・宿泊費は(1)の事業費として申請)

(3) アンコールクラウ地域環境保全事業(法人事業)

対象：バイヨン中学校及び校区住民 事業費：200千円

内容：三井物産環境基金助成事業「淡水魚と環境保護」の実践を引き継ぎ発展させ、バイヨン中学校の生徒及地域住民の環境保全意識の高揚を図ることをめざす。特に、学区内の環境美化、トンレサップ湖の水辺の美化に関わる授業・ワークショップを実践する。

2 国内福祉・奉仕、国際理解啓発に関わる事業

(1) 国際交流・展覧会等事業

事業費：100千円

- ① 「国際協力フェスタ」への参加 6月3日(日) 於 豊田市「アステ」
写真展示、カンボジア支援活動プレゼン
- ② カンボジア支援活動写真展(「豊田市国際週間」10月1日を挟んで)
- ③ カンボジア子ども絵画展(開催日程、会場未定)

(2) マジック公演、講演等啓発事業

- ① 各団体・学校からの要請に随時応じる。
- ② 形原公民館事業の講師としてマジック少年・少女の育成を図る。

第5号議案

平成30年度特定非営利活動に係わる収支予算(案)
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人オアシス

科 目	金 額 (円)		科 目
I 経常収入の部			
1 財産運用収入		0	
2 会費・入金収入		350,000	
1) 会員会費収入	350,000		会員35名×10,000円
3 補助金等収入		772,000	
1) 民間補助金収入	722,000 50,000		アジア・市民交流プログラム助成金 蒲郡国際交流協会助成金
4 寄付金収入		3,000,000	
1) カンボジア特別支援基金	700,000		募金・寄付金
2) カンボジア支援活動寄付	2,000,000		航空運賃1人80,000円×25人(年3回)
3) 招聘事業特別寄付	300,000		社員及び協賛者寄付金
5 雑収入		100	
1) 雑収入	100		利息
経常収入合計(A)		4,122,100	
II 経常支出の部			
1 事業費		3,587,000	
1) カンボジア教員研修交流事業	987,000		事業計画書参照
2) カンボジア教育活動支援事業	2,300,000		事業計画書参照
3) アンコールクラウ地域環境保全事業	200,000		事業計画書参照
4) 国際交流・展覧会事業	100,000		事業計画書参照
2 管理費		195,000	
1) 会議費	20,000		5000円/月) ネット料 スカイプ等 パンフレット発行含む
2) 旅費交通費	10,000		
3) 通信費	40,000		
4) 広報印刷費	80,000		
5) 文具類等消耗品費	30,000		
6) 外国送金・輸送費代	5,000		
7) 雑費	10,000		
経常支出合計(B)		3,782,000	
経常収支差額(A-B)=(C)		340,100	
前期繰越収支差額(D)		1,187,029	
次期繰越収支差額(C+D)		1,527,129	

平成 29 年度 第 5 回カンボジア教員研修招聘事業報告

〔招聘日程〕短期間の研修日程ではありましたが、団員の皆さんには過密な日程を常に真摯な姿勢で、精力的に研修されました。研修内容も市民交流会のトークから、スカイプ通信の練習、運動会練習への参加、授業参観など多彩なものとなりました。後半の 2 日間は台風 18 号の影響が心配され一部予定変更もありましたが、日本の秋らしい風情を味わいつつの 6 日間でした。

研修を受け入れていただきました関係諸機関各位に、衷心より御礼申し上げます。

13 日(水) セントレア 羽 → 名倉小学校(授業参観・給食交流・運動会練習参加) ⇒ 設楽町役場(施設見学)

14 日(木) 蒲郡高校学校(授業参観・施設見学) ⇒ 蒲郡生命の海科学館(作品づくり・施設見学) ⇒ 蒲郡市役所表敬訪問(市長・教育長)

15 日(金) 大塚中学校(施設見学・体育大会練習見学・給食試食) ⇒ ラグーナテンプス(歌劇鑑賞・園内見学)

16 日(土) 蒲郡中学校(授業参観・バイオン中学校とのスカイプ通信試験) ⇒ 蒲郡商工会議所(カンボジア&市民交流会 108 人参加) ⇒ 市民会館(カンボジア教員使節団歓迎会 44 人参加)

17 日(日) 名古屋散策(名駅付近・栄付近・テレビ塔、JR・地下鉄・新幹線乗車)

18 日(月) セントレア(帰国)

〔団長チア・ノル氏談〕第 1 回と今回で 2 度目の参加である。先回の教育事情視察中心の研修から、今回は、現場の先生たちの教育実践力アップをねらった研修を期待した。バイオン中学校創始者の私としては、今回参加した先生方を中心に、研修内容の報告に刺激を受けた先生方がどう意識変革をし、バイオン中学校の発展にどのように関わっていくかが楽しみである。

〔団員所感〕

① 日本の国土・風景 ◆山や海や大きな川があって景色が美しい。9 月の日本の気候は寒くもなくちょうどいい。◆高速道路がすばらしく、完璧。街の中にゴミが落ちてなくてきれい、うらやましい。◆蒲郡は遊園地や竹島があり美しい。駅もととてもきれい。大きなスーパーもありとても便利。◆名古屋は人口が多く、テレビ塔からの景観は見たことのない発展した景色。日本の半分ほどでよいから早く追いつけるとよい。②学校参観 ◆日本の学校施設や教材・教具・機器の充実が驚いた。特に、名倉小の工夫された講堂の造り、大塚中の体育館の大き

さ、蒲郡高校の 250 人入る講義室など素晴らしいと思った。また、教科ごとの教室があるのがうらやましい。◆名倉小は 42 人の子どもに対して 14 人の先生と複数の講師の先生、バイオン中は 460 人の生徒に対して 13 人の先生、早く日本のようになるとよい。また、障害の重い 1 人子どもに対して 2 人の先生が教えており、びっくり。◆カンボジアでは教科書の内容だけを教えているが、日本の先生たちは教科書を使って、自分で教材・教具をつくり工夫して授業をやっている。挑戦したい。◆子どもたちが授業の中で発表したりピアノを弾き歌ったりして、自覚をもってしっかり勉強している。◆大塚中・蒲郡中の教室環境(掲示物)が完璧。特に大塚中学校の図書館の本の整頓、蒲郡中学校の靴の整頓は見習いたい。◆蒲郡高校ではボクササイズの授業(ボクシングをアレンジしたもの)やギターの授業、さらに外国人の先生の授業もありとても興味深かった。どこも少人数で学習の効果が上がると思った。◆蒲郡中学でのスカイプ通信試験がうまくいき、ルー校長の話もしっかり聞こえ画像もとてもきれいだった。これからは楽しみ。◆科学館での拾い集めた貝を飾りに使ったのフォトスタンド作りは、先生のアイデアで興味の湧く授業ができることを教えてもらった。③市民交流会等全般 ◆壇上で話することには慣れていないのでとても緊張した。通訳してもらったが、うまく伝わったかどうか心配。◆こんなにも多くの人(108 人)たちが、カンボジアのことに興味を持ったり学校のことに関心を持ってくれたりして嬉しくなり、励みになった。◆JR の事故で新幹線に乗れ、本当に幸運、感激した。◆オアシスの皆さんが朝から晩まで全力で対応してくれ、感謝。これからもバイオン中でいろいろな教具を使って新しい方法の授業をやっていたきたい。ありがとうございました。(本所感は、使節団員の口述の意を汲みつつ文章化したものである。文責：足立泰敏)

〈多文化多様性交流事業〉 カンボジア&市民交流会実施報告

- 1 日 時 平成29年9月16日(土) 14:00~16:30
- 2 場 所 蒲郡商工会議所コンベンションホール
- 3 参加者 108名 (幼児1 小学生7 高校生27 大学生2 一般45
報道2 市所管関係4 オアシス会員21)
- 4 内 容
 - カンボジア写真展示 ○カンボジア紹介映像 ○市川莉奈さんからのメッセージ
 - 子どもマジックショー 幼児小学生7名
 - トークショー「カンボジアの今を語る」
 - ・チア ノル ・モム ポーサト ・チョン ビエラー ・ラム スレイコム
 - ・大滝智子 ・榎本有衣 ・仲尾唯子
 - 座談会「いただきます!カンボジアの良さを」 (各部20名程度)
 - ・第1 これからのカンボジアで大切にしていきたいこと
 - ・第2 若者子供の将来の夢
 - ・第3 カンボジアの暮らしについて
 - ・第4 海外旅行海外留学で学ぶこと
 - 全体報告会 各部会のまとめ
 - ・第1 整いすぎた日本の教育の弱点、カンボジアに未来あり
交流をいつまでも大切に 仲間を大切に! 夢はでっかく!
 - ・第2 全員で中学校を卒業してほしい。
好奇心を持って人生を切り開くこと
 - ・第3 1フレンドリー 2生活の格差 3食べものと気候
 - ・第4 その国の文化・習慣・人との関わりを楽しむ。
新しい自分を見つけることができた。

【カンボジア&市民交流会アンケート結果】 回答 29 名

- 1 あなたは・・・
 - 学生 17 (高校生 15 大学生 2) 男5 女12
 - 一般 12 (20~30代 1 40~50代 3 60代以上 8) 男8 女4
- 2 この会を何で知りましたか。
 - 学生 ・学校からの紹介 16 ・知人の紹介 1
 - 一般 ・知人の紹介 7 ・広報がまごおり 2 ・公的機関のチラシ 1
・学校からの紹介 1 ・その他(引率) 1
- 3 今日の内容で、心をひかれたものはどれでしたか。(いくつでもよい)
学生 一般
 - (1) (3) 『笑顔とハロー心つなぐ』蒲郡市の若者市川莉奈さんのメッセージの紹介
 - (3) (4) ちびっ子マジックショウ
 - (9) (10) トークショウ「カンボジアの今を語る」
 - (9) (8) 座談会「いただきます!カンボジアのよさを」
 - (3) (3) 座談会報告会
 - (3) (4) 映像を使った各種の紹介
- 4 今日の、カンボジア&市民交流会「ノックしよう!世界に広がる期待のドアを」の内容は、興味をひくものでしたか。

学生 一般

- (11) (4) とても興味深かった
- (5) (8) 興味深かった
- (1) (0) あまり興味がなかった

5 ご意見、ご感想をお書きください。

○学生の声

- ・カンボジアのことをたくさん聞いて良かった。暮らしとか教育のことは初めて聞いたことばかりだったのでよかった。カンボジアの大変さがよくわかった。
- ・話し合いで、結婚式や普段の生活で助けあったり盛り上がったたりするいいところがわかったが、貧富の差があり大変なことも分かった。
- ・初めて知ることばかりで興味深かった。内容がどれも難しく積極的に参加できなかったが、聞いている中で学校に通えなかったり読み書きができなかったりする人がいることがわかった。自分の生活がとても裕福であることが実感できた。
- ・現地の方々の意見を聞けるという貴重な体験になった。質問に答えてくださって有難かった。
- ・今までカンボジアのイメージは良くなかったが、お話を聞いてイメージが大分変わり、日本人よりも優しく、親切な方々ばかりだということが分かった。カンボジアに興味をわき、今日聞いた話が何かに生かせるとよいと思った。
- ・カンボジアの子供の将来の夢を叶えるために教育機関が発達してほしいと思った。
- ・海外留学で学んだことや、カンボジア人から話や経験を聞いて良かった。
- ・自分が受けられる教育はとても幸せなことなんだと思った。
- ・とても良い交流会だった。特にトークショーで日本の教育の充実さを称賛して下さりうれしく感じた。チア ノルさんの話を聞いて私の想像以上に大変だっただろうと思った。
- ・高校生ボランティアとして参加したが話の内容が難しく深く考えられなかった。日本の今の私の環境はとても恵まれていると改めて感じた。目標を決めて勉強と向き合っていこうと思った。
- ・実際に現地を知っている人の話を聞いて、知らないことが知れて面白かった。
- ・好奇心を持って学校の勉強に励むカンボジアの子供たちは素敵だと思った。自分も新しいものに興味を持ち続けて学問の深みを味わいたいと思った。
- ・実際に交流会に参加し私達が恵まれていることが分かった。貴重な体験を有難うございました。
- ・交流事業なら挨拶言葉等客がゲストとコミュニケーションがとれるとよいと思った。ランダムで座談会の参加を決めたが自分の聞きたい話が聞けなかった。工夫を。進行役の話が長かった。

○一般参加者の声

- ・現在私の娘がコンポンチャム州でフリースクールのインターン生として活動している。私自身もカンボジアを旅行し、今回興味を持って参加できた。有難うございました。
- ・二人の大学生の話を聞き、文化など全く違う国に住み一緒に働くことは人を成長させると思った。海外に行く若者が減っていると言われるが海外体験の大切さを改めて実感した。
- ・バイオン中で実際教鞭をとっている方の話を聞いて良かった。学校の実態を聞いて今更ながら支援交流の必要性を感じた。
- ・カンボジアの未来をこれからみんなで作っていきたい。
- ・戦前戦後の日本の現状を想起させる。支援の在り方を考えさせられる。国の在り方・為政者の在り方を考えてみる。
- ・日本の豊かさを実感できた。日本で当たり前のことが他国では当たり前でないこと。
- ・学ぶ意識が子供も親も高まってきたことが分かった気がする。ぼけてはいられないな。ここに参加した高校生はしっかりしている。見習いたいな。オークン！
- ・前向きな姿勢に心打たれた。今の自分のルーズな生活を見直し反省した。
- ・多文化多様性を体感することは大切だと思う。自分のできることは少しの金銭的援助しかない。

平成 29 年度 第 5 回カンボジア教員研修招聘事業報告

【招聘日程】短期間の研修日程ではありましたが、団員の皆さんには過密な日程を常に真摯な姿勢で、精力的に研修されました。研修内容も市民交流会のトークから、スカイプ通信の練習、運動会練習への参加、授業参観など多彩なものとなりました。後半の 2 日間は台風 18 号の影響が心配され一部予定変更もありましたが、日本の秋らしい風情を味わいつつの 6 日間でした。

研修を受け入れていただきました関係諸機関各位に、衷心より御礼申し上げます。

13日(水) セントレア着 ⇒ 名倉小学校(授業参観・給食交流・運動会練習参加) ⇒ 設楽町役場(施設見学)

14日(木) 蒲郡高校学校(授業参観・施設見学) ⇒ 蒲郡生命の海科学館(作品づくり・施設見学) ⇒ 蒲郡市役所表敬訪問(市長・教育長)

15日(金) 大塚中学校(施設見学・体育大会練習見学・給食試食) ⇒ ラグーナテンプス(歌劇鑑賞・園内見学)

16日(土) 蒲郡中学校(授業参観・バイオン中学校とのスカイプ通信試験) ⇒ 蒲郡商工会議所(カンボジア&市民交流会 108 人参加) ⇒ 市民会館(カンボジア教員使節団歓迎会 44 人参加)

17日(日) 名古屋散策(名駅付近・栄付近・テレビ塔、JR・地下鉄・新幹線乗車)

18日(月) セントレア(帰国)

【団長子ア・ノル氏談】第 1 回と今回で 2 度目の参加である。先回の教育事情視察中心の研修から、今回は、現場の先生たちの教育実践力アップをねらった研修を期待した。バイオン中学校創始者の私としては、今回参加した先生方を中心に、研修内容の報告に刺激を受けた先生方がどう意識変革をし、バイオン中学校の発展にどのように関わっていくかが楽しみである。

【団員所感】

① 日本の国土・風景 ◆山や海や大きな川があって景色が美しい。9月の日本の気候は寒くもなくちょうどいい。◆高速道路がすばらしく、完璧。街の中にゴミが落ちてなくてきれい、うらやましい。◆蒲郡は遊園地や竹島があり美しい。駅もとてもきれい。大きなスーパーもありとても便利。◆名古屋は人口が多く、テレビ塔からの景観は見たことのない発展した景色。日本の半分ほどでよいから早く追いつけるとよい。②学校参観 ◆日本の学校施設や教材・教具・機器の充実に驚いた。特に、名倉小の工夫された講堂の造り、大塚中の体育館の大き

さ、蒲郡高校の 250 人入る講義室など素晴らしいと思った。また、教科ごとの教室があるのがうらやましい。◆名倉小は 42 人の子どもに対して 14 人の先生と複数の講師の先生、バイオン中は 460 人の生徒に対して 13 人の先生、早く日本のようになるとよい。また、障害の重い 1 人子どもに対して 2 人の先生が教えており、びっくり。◆カンボジアでは教科書の内容だけを教えているが、日本の先生たちは教科書を使って、自分で教材・教具をつくり工夫して授業をやっている。挑戦したい。◆子どもたちが授業の中で発表したりピアノを弾き歌ったりして、自覚をもってしっかり勉強している。◆大塚中・蒲郡中の教室環境(掲示物)が完璧。特に大塚中学校の図書館の本の整頓、蒲郡中学校の靴の整頓は見習いたい。◆蒲郡高校ではボクササイズの授業(ボクシングをアレンジしたもの)やギターの授業、さらに外国人の先生の授業もありとても興味深かった。どこも少人数で学習の効果が上がると思った。◆蒲郡中学でのスカイプ通信試験がうまくいき、ルー校長の話もしっかり聞こえ画像もとてもきれいだった。これからが楽しみ。◆科学館での拾い集めた貝を飾りに使ったのフォットスタンド作りは、先生のアイデアで興味の湧く授業ができることを教えてもらった。③市民交流会等全般 ◆壇上で話をすることには慣れていないのでとても緊張した。通訳してもらったが、うまく伝わったかどうか心配。◆こんなにも多くの人(108人)たちが、カンボジアのことに興味を持ったり学校のことに関心を持ってくれたりして嬉しくなり、励みになった。◆JRの事故で新幹線に乗れ、本当に幸運、感激した。◆オアシスの皆さんが朝から晩まで全力で対応してくれ、感謝。これからもバイオン中でいろいろな教具を使って新しい方法の授業をやっていたきたい。ありがとうございました。(本所感は、使節団員の口述の意を汲みつつ文章化したものである。文責：足立察敏)

外国暮らし体験交流会アンケート集約結果

参加者 33 人（内オアシス社員 16 名） アンケート回答者 14 名

◆「あなたは以下のどこに該当しますか」

・ 60 歳代以上 9 名 ・ 40～50 歳代 5 名

◆「今日の内容で、心をひかれた内容はなんでしたか」

- ① 外国暮らし体験者あいさつ 8 名
- ② パネラー体験対話 9 名
- ③ 思いで対話 8 名
- ④ 人生対話 9 名
- ⑤ パネラーとの質疑応答 0 名
- ⑥ 映像等の資料 6 名

◆「外国暮らし体験交流会は興味・関心深い内容でしたか」

- ① とても興味深かった 12 名
- ② 興味深かった 2 名
- ③ あまり興味が持てなかった 0 名

◆意見・感想

- ・ 実体験の話で、その国がとても理解でき興味深かった。通りすがりでない話をうかがえてとても感動、感心した。自分の考え方を変えていかなければと強く思った。（60 歳代以上）
- ・ 旅行だけでは知りえない本当のお話をお聞きしました。外国から見た日本で、普段気が付かなかったことを分かったような気がします。鈴木先生のホンジュラス・チリのお話をまた聞きたいです。（60 歳代以上）
- ・ 娘が現在カナダに留学しているので、カナダでの様子などを知りたかった。（40～50 歳代）
- ・ すごくよかった。日本から出ることで学ぶことがたくさんあり、3 名の先生方のいろいろな話を聞くことで、自分ももっと何かをしたいと思えた。もっと聞きたかった（60 歳代以上）
- ・ 学生さんにもっと聞いてもらえたらよいと思いました。日本をもっと勉強すること、目線を下げること、歴史を知ること・・・、勉強になりました。（40～50 歳代）
- ・ 未知の国の暮らしが分かって面白かった。その国の言語、文化、習慣には興味がひかれます。（40～50 歳代）
- ・ 今日のお話は皆さん先生ですが、経験をどのように伝えているのか聞きたかった。もっと多くの人に聞いてほしかったので宣伝をもっとしてほしかった。（40～50 歳代）
- ・ 興味深いお話を多く聞かせていただき感謝しています。（60 歳代以上）
- ・ 市内・県内の「先生の集い」等で、催してほしい内容。蒲郡市はポーランドと交流しているので、交流相手国での生活体験者の話があればなおよかったと思いました。（60 歳代以上）
- ・ 海外勤務のある企業研修にもってこいの内容。とても感心した。（40～50 歳代）
- ・ 3 人の先生方の人間力の高さ、人間的魅力を強く感じました。異なっている、違っていることを前提とした国際交流の重要性を強く感じます。（60 歳代以上）

〈多文化多様性交流事業〉 カンボジア&市民交流会実施報告

- 1 日 時 平成29年9月16日(土) 14:00~16:30
- 2 場 所 蒲郡商工会議所コンベンションホール
- 3 参加者 108名 (幼児1 小学生7 高校生27 大学生2 一般45
報道2 市所管関係4 オアシス会員21)
- 4 内 容
 - カンボジア写真展示 ○カンボジア紹介映像 ○市川莉奈さんからのメッセージ
 - 子どもマジックショー 幼児小学生7名
 - トークショー「カンボジアの今を語る」
 - ・チア ノル ・モム ポーサト ・チョン ビエラー ・ラム スレイコム
 - ・大滝智子 ・榎本有衣 ・仲尾唯子
 - 座談会「いただきます!カンボジアの良さを」 (各部20名程度)
 - ・第1 これからのカンボジアで大切にしていきたいこと
 - ・第2 若者子供の将来の夢
 - ・第3 カンボジアの暮らしについて
 - ・第4 海外旅行海外留学で学ぶこと
 - 全体報告会 各部会のまとめ
 - ・第1 整いすぎた日本の教育の弱点、カンボジアに未来あり
交流をいつまでも大切に 仲間を大切に! 夢はでっかく!
 - ・第2 全員で中学校を卒業してほしい。
好奇心を持って人生を切り開くこと
 - ・第3 1フレンドリー 2生活の格差 3食べものと気候
 - ・第4 その国の文化・習慣・人との関わりを楽しむ。
新しい自分を見つけることができた。

【カンボジア&市民交流会アンケート結果】 回答 29 名

- 1 あなたは・・・
 - 学生 17 (高校生 15 大学生 2) 男5 女12
 - 一般 12 (20~30代 1 40~50代 3 60代以上 8) 男8 女 4
- 2 この会を何で知りましたか。
 - 学生 ・学校からの紹介 16 ・知人の紹介 1
 - 一般 ・知人の紹介 7 ・広報がまごおり 2 ・公的機関のチラシ 1
・学校からの紹介 1 ・その他(引率) 1
- 3 今日の内容で、心をひかれたものはどれでしたか。(いくつでもよい)
学生 一般
 - (1) (3) 『笑顔とハロー心つなぐ』蒲郡市の若者市川莉奈さんのメッセージの紹介
 - (3) (4) ちびっ子マジックショウ
 - (9) (10) トークショウ「カンボジアの今を語る」
 - (9) (8) 座談会「いただきます!カンボジアのよさを」
 - (3) (3) 座談会報告会
 - (3) (4) 映像を使った各種の紹介
- 4 今日の、カンボジア&市民交流会「ノックしよう!世界に広がる期待のドアを」の内容は、興味をひくものでしたか。

学生 一般

- (11) (4) とても興味深かった
- (5) (8) 興味深かった
- (1) (0) あまり興味がなかった

5 ご意見、ご感想をお書きください。

○学生の声

- ・カンボジアのことをたくさん聞いて良かった。暮らしとか教育のことは初めて聞いたことばかりだったのでよかった。カンボジアの大変さがよくわかった。
- ・話し合いで、結婚式や普段の生活で助けあったり盛り上がったたりするいいところがわかったが、貧富の差があり大変なことも分かった。
- ・初めて知ることばかりで興味深かった。内容がどれも難しく積極的に参加できなかったが、聞いている中で学校に通えなかったり読み書きができなかったりする人がいることがわかった。自分の生活がとても裕福であることが実感できた。
- ・現地の方々の意見を聞けるという貴重な体験になった。質問に答えてくださって有難かった。
- ・今までカンボジアのイメージは良くなかったが、お話を聞いてイメージが大分変わり、日本人よりも優しく、親切な方々ばかりだということが分かった。カンボジアに興味をわき、今日聞いた話が何かに生かせるとよいと思った。
- ・カンボジアの子供の将来の夢を叶えるために教育機関が発達してほしいと思った。
- ・海外留学で学んだことや、カンボジア人から話や経験を聞いて良かった。
- ・自分が受けられる教育はとても幸せなことなんだと思った。
- ・とても良い交流会だった。特にトークショーで日本の教育の充実さを称賛して下さりうれしく感じた。チア ノルさんの話を聞いて私の想像以上に大変だっただろうと思った。
- ・高校生ボランティアとして参加したが話の内容が難しく深く考えられなかった。日本の今の私の環境はとても恵まれていると改めて感じた。目標を決めて勉強と向き合っていこうと思った。
- ・実際に現地を知っている人の話を聞いて、知らないことが知れて面白かった。
- ・好奇心を持って学校の勉強に励むカンボジアの子供たちは素敵だと思った。自分も新しいものに興味を持ち続けて学問の深みを味わいたいと思った。
- ・実際に交流会に参加し私達が恵まれていることが分かった。貴重な体験を有難うございました。
- ・交流事業なら挨拶言葉等客がゲストとコミュニケーションがとれるとよいと思った。ランダムで座談会の参加を決めたが自分の聞きたい話が聞けなかった。工夫を。進行役の話が長かった。

○一般参加者の声

- ・現在私の娘がコンポンチャム州でフリースクールのインターン生として活動している。私自身もカンボジアを旅行し、今回興味を持って参加できた。有難うございました。
- ・二人の大学生の話を聞き、文化など全く違う国に住み一緒に働くことは人を成長させると思った。海外に行く若者が減っていると言われるが海外体験の大切さを改めて実感した。
- ・パイオン中で実際教鞭をとっている方の話を聞いて良かった。学校の実態を聞いて今更ながら支援交流の必要性を感じた。
- ・カンボジアの未来をこれからみんなで作っていきたい。
- ・戦前戦後の日本の現状を想起させる。支援の在り方を考えさせられる。国の在り方・為政者の在り方を考えてみる。
- ・日本の豊かさを実感できた。日本で当たり前のことが他国では当たり前でないこと。
- ・学ぶ意識が子供も親も高まってきたことが分かった気がする。ぼけてはいられないな。ここに参加した高校生はしっかりしている。見習いたいな。オークン！
- ・前向きな姿勢に心打たれた。今の自分のルーズな生活を見直し反省した。
- ・多文化多様性を体感することは大切だと思う。自分のできることは少しの金銭的援助しかない。